

科目名	Excel						
科目名(英)	Excel						
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	山田 智子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテルリゾート科1年						
授業概要	企業で最も使われているソフトの1つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2016」を使ってそれらの機能の基本的な操作方法を習得する。問題集「2016対応 Word 文書処理技能認定試験 3級問題集」を使ってより高度な機能の習得と検定対策の学習をする。また、検定対策の一環として客観的に自分の解答が正しいか判断できるようになるため自己採点を行う。						
授業形式	講義: △	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					Excelで作成ができる。	
	○					Excelでグラフの作成と編集ができる。	
	○					Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。	
○	○					Excel表計算処理技能認定試験3級に合格する。	
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Excel2016 2016対応 Excel 表計算処理技能認定試験 3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Excelの概要・データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成・練習問題				テキスト記載の実習問題1~4の表作成を完成させる	
	3	基本のグラフ作成・練習問題				テキスト記載の実習問題1~4のグラフ作成を完成させる	
	4	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)				テキスト記載の実習問題7~10を完成させる	
	5	セルの書式設定・絶対参照を使う計算・関数(とから選べる関数)				テキスト記載の実習問題11~15を完成させる	
	6	いろいろな関数(COUNTA,ROUND類,RANK類,IF)				テキスト記載の実習問題16~18,37を完成させる	
	7	スパークライン・グラフ機能				テキスト記載の実習問題20~26を完成させる	
	8	データベース機能				テキスト記載の実習問題34,35を完成させる	
	9	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習					
	10	検定問題集_練習問題1を演習を見ながら実習				練習問題1を仕上げる。	
	11	検定問題集_練習問題2_演習による解説後、各自で実習				練習問題2を仕上げる。	
	12	検定問題集_練習問題3_演習による解説後、各自で実習				練習問題3を仕上げる。	
	13	検定問題集_模擬問題1_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題1を仕上げる。	
	14	試験プログラムの使用方法・模擬試験1回目					
	15	検定問題集_模擬問題2・3_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題2・3を仕上げる。	
	16	検定問題集_模擬問題4・5_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題4・5を仕上げる。	
	17	検定問題集_模擬問題6・7_各自で実習し、不明点を個別対応で解説。				模擬問題6・7を仕上げる。	
	18	模擬試験2回目					
	19	模擬試験解説・質疑・別問題					
20	期末試験実技						
評価方法	(1)授業の中で検定対策として模擬試験を2回実施する。(2)テキスト「30時間でマスターExcel2016」内の実習問題を70%以上仕上げる。(3)授業中に終了しなかった問題集の課題を全て仕上げる。((2)(3)については授業終了時にメモリ提出)(4)問題集の模擬問題1~7について採点表をもとに自己採点しプリントで提出する。(5)検定試験と同程度の実技期末試験を行う。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実技	○	◎	○			50%
	模擬試験	○	◎	○			15%
	上記(2)課題提出		◎	○	◎		10%
	上記(3)検定問題集	○	◎	○	○		20%
上記(4)自己採点表提出	○	○		◎		5%	
履修上の注意	出席が14回に満たない場合は、評価Dとする。						

科目名	Internship English						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	40時間	担当者	郡嶌 奨		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	海外ホテルでのインターンシップに必要な英語を学ぶ 外国人講師との授業で、ネイティブの英語表現、コミュニケーションに慣れる						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテル用語を英語で説明できる	
		○				接客の場面を想定して英語でコミュニケーションが取れる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業内容説明、自由英会話					
	2	ハウスキーピングの英語①					
	3	ハウスキーピングの英語②					
	4	ハウスキーピングの英語③					
	5	ハウスキーピングの英語④			小テスト		
	6	レストランの英語①					
	7	レストランの英語②					
	8	レストランの英語③			小テスト		
	9	フロントの英語					
	10	確認テスト					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)小テスト (2)確認テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○			○		50%
	確認テスト		○		○		50%
履修上の注意							

科目名	コミュニケーション技法						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	小川 果		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	コミュニケーションとは何か、より良いコミュニケーションのために大切なことは何かを理解する 言いたいこと、言うべきことを明確に簡潔に相手に伝えることができるようにする 言語表現力を高めることにより、セルフエスティームを向上させ、新たな社会で生きていく自信をつける 社会での自称への関心を深め、自分と社会を関連づけて考えることができるようになる						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>					1対1での対話がきちんとできる	
	<input type="radio"/>					自らの意見や考え方、価値観を開示することができる	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				人の話をしっかりと聞き、考え方や価値観の多様性を理解できる	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				ニュースに関心を持ち、社会的存在としての自分に気付くことができる	
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				自分とは何か、自分はどんな人間か、より深く考えることができる		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会とは何か 社会とは？家庭とは？クラスとは？					
	2	何を学ぶか 何を手に入れたいか？コスト意識を持つ					
	3	コミュニケーション(1) マナー、返事、1対1で話す					
	4	コミュニケーション(2) 聞く、質問する 相手の話を要約する					
	5	コミュニケーション(3) 実践報告					
	6	スピーチ(1) 「物」を媒介にして自分を伝える					
	7	スピーチ(2) 「言葉」を媒介にして自分を伝える					
	8	スピーチ(3) 「ニュース」を媒介にして自分を伝える					
	9	自己分析 あなたはどんな人ですか？					
	10	グループディスカッション、社会人となるためのポイント					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)技能点(各課題について10点満点で評価) (2)平常点(発表に対する積極性)、出席状況、授業態度 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	コミュニケーション・スピーチ 技能	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		50%
	平常点・出席・授業態度	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		50%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ペン字						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	入江 陽子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテルマンとして日常生活における硬筆書写の一般知識・理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する 正しいペンの持ち方、姿勢を守り、書写することにより集中力をつける						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉遣いで、自分の履歴書を書くことができる	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる	
			○			正しいペンの持ち方、姿勢で書写することができる	
				○		集中力を持って取り組むことができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	実用書① 氏名、実習のお礼状の書式				ボールペンの練習をしておくこと	
	2	ペン字基本 基本点画練習				お礼状提出できるようにしておくこと	
	3	ペン字基本 筆順、基本点画				基本点画の復習	
	4	ペン字基本 字形の整え方(字形24体)				筆順の復習	
	5	ペン字基本 平仮名字源、練習、片仮名				字形の復習	
	6	履歴書 履歴書を体裁よく書くコツ				履歴書の必要事項を調べておくこと	
	7	履歴書 履歴書ペン書き、練習				履歴書の下書きを調べておくこと	
	8	履歴書 履歴書清書、求職票				履歴書のペン書きをしておくこと	
	9	実用書② 年賀状、はがきの書式				履歴書の清書提出できるようにしておくこと	
	10	実用書③ のし書き、芳名帳				求職票下書きを書いておくこと	
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で清書した履歴書を試験のかわりとして評価する (2)出席状況を意欲点として評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	履歴書	○	◎				80%
	出席				○		20%
履修上の注意							

科目名 Subject Name	English Conversation I B						
科目名(英) Same as Above	English Conversation						
単位数 Credits	1	時間数 Hours	20	担当者 Instructor	Laurel Pegler, Jason Heliopoulos		
実施年度 Year	1	実施時期 Semester	2	実務家教員 担当科目 Instructor with Career in Subject Area	○		
対象学科・学年 Class	Hotel 1						
授業概要 Subject Description	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills						
授業形式 Class Format	講義: Lecture △	演習: Practice ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標) Specific Targets in Focus	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標 Targets	
	○					Raise students' English proficiency	
	○	○				Give students more confidence in using English	
	○					Workplace related English skills	
テキスト・教材 参考図書 Textbooks and References	Speakout Elementary Book1						
授業計画 Class Schedules and Contents	回数	授業項目・内容 Topics and Contents			授業外学修指示 Preparation and Review		
	1	Getting to know your teacher			none		
	2	Unit 3.1 Big Happy Families			Preview lesson materials and		
	3	Unit 3.2 Real Friends?			Preview lesson materials and		
	4	Unit 3.3 Are You Free Tonight?			Preview lesson materials and		
	5	Unit 3.4 Diwali Celebrations			Preview lesson materials and		
	6	Unit 3.5 Lookback and review			Preview lesson materials and		
	7	Unit 4.1 A Place to Stay			Preview lesson materials and		
	8	Unit 4.2 Around Town			Preview lesson materials and		
	9	Review and practice for speaking test			Preview lesson materials and		
10	Speaking Test			Review previous lesson material			
評価方法 Assessment Method	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報 Language Info.	知的技能 Intellectual Skills	運動技能 Physical Skills	態度・意欲 Attitude/Ea gerness	その他 Other	評価割合 Percentage of Assessment
	定期試験 Semester End Exam	○	○		○		50%
	小テスト In-class Tasks	○	○		○		50%
	宿題・レポート Assignment/Report						
	発表・作品 Presentation/Works						
履修上の注意 Remarks	Students will not receive a grade if they miss more than 3 classes.						

科目名	ホテル概論B						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	郡島 奨		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル実習を踏まえ、広くホテル全般や取り巻く環境に関する知識を学ぶ</li> <li>・各部門の業務を理解し、就職に役立つ情報として捕らえる</li> <li>・ホテルビジネス実務検定への導入として概要を学ぶ</li> </ul>						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテル実習を踏まえ広くホテル全般や取ります環境に関する知識を学ぶ	
		○				各部門の業務を理解し就職に役立つ情報として捕らえる	
	○					ホテルビジネス実務検定への導入として概要を学ぶ	
テキスト・教材 参考図書	現代ホテル理論						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	宿泊部門復習					
	2	料飲部門復習					
	3	ホテルの色々なセクション					
	4	宴会部門 宴会の種類					
	5	ホテルのブライダルセールス					
	6	ホテル内のイベント、販売促進					
	7	ホテルに求められる安全管理					
	8	ホテルのコンピューターシステム					
	9	事例研究①					
	10	事例研究②、まとめ					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)ホテル実習のレポート提出 (2)期末試験 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成	○			○		100%
	期末試験	○	○				
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ホテル韓国語						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	20時間	担当者	水早 真弓		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル科 1年						
授業概要	韓国語の基礎、特にハングルの読み方と発音を正確に学習する。 韓国語は文字が読めないと学習できないため、しっかりと正確な読み方と発音を習得する。 その上でホテリエ向けのおもてなし外国語会話を学習し、実践に使える韓国語の習得を目標とする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ハングルの仕組みを理解し、読めるようになる。	
	○					発音変化の仕組みを理解し、的確に読めるようになる。	
		○				挨拶言葉を覚え、簡単な挨拶ができるようになる。	
		○				ホテル業務の際に使える韓国語を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	・自作資料 ・「ホテリエ向け『おもてなし外国語会話』」 週刊ホテルレストラン編集部						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	韓国語のしくみの理解「発音してみよう！書いてみよう！」その1				習った部分を復習する。	
	2	韓国語のしくみの理解「発音してみよう！書いてみよう！」その2				習った部分を復習する。	
	3	韓国語のしくみの理解「発音してみよう！書いてみよう！」その3				習った部分を復習する。	
	4	『韓国語会話』「どこに行きますか？」 会話文理解&会話練習				習った部分を復習する。	
	5	『韓国語会話』「どこに行きますか？」 会話文理解&会話練習 小テスト				習った部分を復習する。	
	6	ホテリエ向け「おもてなし外国語会話」基本編				習った部分を復習する。	
	7	ホテリエ向け「おもてなし外国語会話」宿泊編①				習った部分を復習する。	
	8	ホテリエ向け「おもてなし外国語会話」宿泊編②				習った部分を復習する。	
	9	ホテリエ向け「おもてなし外国語会話」レストランサービス編①				習った部分を復習する。	
10	ホテリエ向け「おもてなし外国語会話」レストランサービス編② 後期総復習				習った部分を復習し、期末試験に備える。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。 (2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト、出席率	◎	◎		◎		50%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ホテル産業演習 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	佐藤 俊子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	前期授業とホテル実習で学んだ基礎を元に、更に深く掘り下げ研究、考察する。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテル実習の振り返りと情報共有をし、ホテルごとの特徴を覚える	
	○					有名ホテルの実績をもとに、その成功例を検証する	
	○					現在のホテルのトレンドを知り、今後のホテルの向かうべき姿を考え、意見することができる	
テキスト・教材 参考図書	現代ホテル理論						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、実習振り返りと情報共有する					
	2	販売促進 広告宣伝とPRの違いを学ぶ(帝国ホテルのパブリシティ)					
	3	ホテルの婚礼を学び、他社と比較研究する(歴史と実績の考察)					
	4	海外ホテル(ラスベガス、マカオ)					
	5	海外ホテル(ハワイ)					
	6	海外ホテル(パリ)					
	7	海外ホテル(シンガポール マリーナベイサンズとラッフルズ)					
	8	スモールゴージャスへと転換する世界のホテル事情					
	9	福岡のホテルの未来像、最終回の発表準備					
	10	発表とフィードバック					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)課題提出・プレゼン (2)レポート提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート作成		○		○		100%
	課題提出・プレゼン	○	○		○		
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、単位を与えない。						



科目名	ホテル実習						
科目名(英)							
単位数	10単位	時間数	400時間	担当者	郡嶋 奨		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	10週間にわたって、ホテルにおける就業体験を通して、実践的スキルを習得する。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ホテルでの接客時に用いる敬語や言い回しを見え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				ホテル業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
			○			個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各ホテルのルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ホテルの業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ~	各ホテルでの実習					
評価方法	(1)実習ノートの作成(学生)と現場スタッフによるコメント記入 (2)実習終了時の評価表作成(企業)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意							

科目名	レストラン実務B						
科目名(英)	Restaurant practical operations B						
単位数	2単位	時間数	40時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	ホテルにて料飲担当として勤務		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける料飲部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特にレストラン部門で必要なサービス方法についてをより深く学んでいく。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				前期で学んだレストランサービススキルをより正確に素早く行うことができる。	
	○					西洋料理全般の知識を習得し、正確に答えることができる。	
	○					お酒の知識を習得し、正確に答えることができる。	
	○	○	○			現場に即したレストランサービスを、他者の前で正確かつ迅速に実践することができる。	
	○					レストラン部門で必要な専門知識を身に付け、期末試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	日本ホテル・レストランサービス技能協会監修 基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	前期レストラン実務での内容とホテル実習での相違と感想			ホテル実習での経験をまとめておくこと		
	2	前期試験項目のサービススキルの復習と確認			実技復習テストに向けて準備をすること		
	3	前期試験項目のサービススキルの復習と確認			実技復習テストに向けて準備をすること		
	4	レストランサービス実技復習テスト			実技復習テストに向けて準備をすること		
	5	レストランサービス実技復習テスト			実技復習テストに向けて準備をすること		
	6	レストランサービス実技復習テスト、西洋料理と和食について			実技復習テストに向けて準備をすること		
	7	前菜・スープ・食前酒と食中酒の知識			授業内容を復習しておくこと		
	8	魚料理・肉料理・ワインの知識			授業内容を復習しておくこと		
	9	パスタ・チーズ・デザート・食後酒の知識			授業内容を復習しておくこと		
	10	お酒の知識、バーテンダー業務			授業内容を復習しておくこと		
	11	お酒の知識、バーテンダー業務			授業内容を復習しておくこと		
	12	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	13	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	14	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	15	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	16	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	17	レストランサービス実技試験練習			実技試験に向けて準備をすること		
	18	レストランサービス実技試験			実技試験に向けて準備をすること		
	19	レストランサービス実技試験			実技試験に向けて準備をすること		
	20	レストランサービス実技試験、正試験対策			正試験に向けて復習をしておくこと		
評価方法	(1) 授業の中で実技復習テストと実技試験の2種類を実施する。(2) 正試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技復習テスト		○	◎	○		25%
	実技試験		○	◎	○		50%
	正試験	◎					25%
履修上の注意	受講の際は料飲実習服を着用し、身だしなみを整えた上で参加すること。 出席が14回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	宴会実務						
科目名(英)	Banquet practical operations						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	ホテル業界で通用する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける宴会部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、料飲部門の中でも特に宴会部門で必要な宴会の種類やサービス方法についてを学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					宴会部門で必要な宴会の名称やセクションの業務を学び、正確に答えることができる。	
			○			宴会部門で必要な専門技術の方法を覚え、正確に実践することができる。	
	○					宴会部門で必要な専門知識を身に付け、期末試験で合格点を取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	株式会社マーケティング・オフィス出版 宴会管理論						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	宴会の定義、宴会商品について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	宴会市場の現状			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	セールスカレンダー、ケータリングサービス、宴会サービス練習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	慶事宴会と弔事宴会、宴会サービス練習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	宴会部門施工までの流れ、宴会サービスセクションの業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	宴会予約セクションの業務			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	宴会販売セクションの業務、宴会サービス練習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	宴会のスタイルについて、テーブルの種類			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	婚礼部門について、宴会サービス練習			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
10	正試験対策			正試験に向けて復習をしておくこと			
評価方法	(1)正試験(筆記)を実施する。(2)復習テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況・授業態度・復習テスト			○	◎		50%
	正試験	◎					50%
履修上の注意	出席が7回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	海外ホテル実務						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	郡島 奨		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	海外生活やホテル実習を行うために必要な知識、情報を習得し、英語表現を学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					海外生活で使う日常表現を英語で言うことができる	
	○					ホテル用語を英語で覚え、話すことができる	
	○					英文メールを作成できる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容説明、導入					
	2	日常英語表現①					
	3	日常英語表現②					
	4	日常英語表現③				小テスト	
	5	ホテル英語表現①					
	6	ホテル英語表現②					
	7	英文メール①				小テスト	
	8	英文メール②					
	9	英語面接練習					
	10	確認テスト					
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)小テスト (2)確認テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○			○		50%
	確認テスト	○	○				50%
履修上の注意							

科目名	海外研修						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	40時間	担当者	郡嶌 奨		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	授業にて学習したホテルに関する知識を実践する機会として、また、海外のホテルや海外の観光資源についての理解を深め、英語でのコミュニケーションも含め国際感覚を養うことを目的とした研修旅行を実施						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					該当各国・エリアの観光地、文化等の観光資源への理解を深めることができる。	
		○				英語を使ったホテルでの現場研修を通して、海外ホテルの業務を理解できる。	
			○			エリアに応じた行程表(行動予定)を作成することができる。	
				○		計画・予定に沿って行動することができる。	
テキスト・教材 参考図書	ホテル研修マニュアル、研修のしおり等						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	海外ホテルでの現場研修					
	2	ホテル滞在 海外のサービス、接客を学ぶ					
	3	該当各国・エリアの観光地の学習					
	4	団体行動と各自の行動予定作成					
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)終了後、レポート作成 (2)現場研修に取り組む姿勢(態度、意欲) 成績評価基準は、R(認定)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート	○					50%
	現場研修		○	○	○		50%
履修上の注意	研修は希望者にて実施。						

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)	Social education I B						
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	木村 匡志		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年						
授業概要	就職活動の流れややり方をきちんと理解し、就職活動準備を行っていく。また、それに伴い求職票受付面接の準備を行い、求職票受付面接に合格することを目標とする。就職活動前の準備として課題作文に取り組む為、その提出状況も社会教養の成績評価に加味する。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					就職活動の準備に積極的に取り組み、課題を完了することができる。	
	○	○	○			求職票受付面接の準備に積極的に取り組み、合格することができる。	
		○				課題作文を完成させ、期日までに提出することができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	授業概要説明、ホテル実習御礼状作成			御礼状を完成させ、発送すること		
	2	クラス役割決め、後期目標設定、就職斡旋規定について			決定した後期目標を実践すること		
	3	学生ウェブメールについて、自己分析とキャリアプランニング			自己分析を進めること		
	4	求職票受付面接について、求職票の書き方			求職票の記入を進めること		
	5	自己表現、自己PRについて			就活用の自己PRを準備すること		
	6	身だしなみ講習、就職用写真撮影			身だしなみを整えて参加すること		
	7	求職票受付面接対策			求職票受付面接の準備を進めること		
	8	求職票受付面接対策			求職票受付面接の準備を進めること		
	9	求職票受付面接対策			求職票受付面接の準備を進めること		
	10	就職環境を知る、就職活動スケジュールについて			今後の就職活動について正しく理解すること		
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)課題作文を実施する。(2)出席状況や授業中の態度・意欲、レポートも成績評価とする。(3)求職票受付面接合格 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題作文提出状況		◎				50%
	出席状況・授業態度・レポート		◎		◎		25%
	求職票受付面接合格	○		○			25%
履修上の注意	検定やイベント等での日程調整により、授業項目の順番に変更が出る場合もあります。						

科目名	文化観光地理								
科目名(英)									
単位数	1単位	時間数	20時間	担当者	郡島 奨				
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目					
対象学科・学年	ホテル・リゾート科 1年								
授業概要	ニュージーランドでの生活に必要な文化、地理やホテルインターンシップに役立つ観光情報等を学ぶ ニュージーランドの文化、風土を知ること、異文化理解に役立てる								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>					有名観光地を覚え、特徴を説明できる			
	<input type="radio"/>					気候や文化を学び、違いや特徴を説明できる			
		<input type="radio"/>				日本の文化と比較することで、現地文化をより深く理解し、現地での生活に役立てる			
テキスト・教材 参考図書	ニュージーランド政府観光局HP								
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示		
	1	授業内容説明、上記HP閲覧							
	2	地理を学ぶ							
	3	文化を学ぶ							
	4	観光地を学ぶ							
	5	日本との文化比較							
	6	Gina & Partners南様の講話					レポート作成		
	7	パワーポイント作成							
	8	発表							
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	(1)レポート提出 (2)パワーポイントを使った発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	レポート	<input type="radio"/>					50%		
	発表		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		50%		
履修上の注意									